



発行責任者
隠岐広域連立立
隠岐病院長
西郷町城北町 355



と、きちんとコントロールしていくことが大切さを身近にとらえら

あくらよっごっご...

出前糖尿病教室

— 町村との連携による
糖尿病教室の取り組み —

当院では、各町村役場と共催し、糖尿病教室を開催しています。この教室の特徴は、①開催地の地域住民の皆様へ広くご案内し、診療所や保健師さんから糖尿病が気になる方に、個別周知して参加を呼びかけること②開催地役場の職員の方、診療所医師を始めとする職員の方と当院からの糖尿病教室チームスタッフ(栄養士、検査技師、薬剤師、看護師、保健師)がでかけ、その場で相談にも応じることができ、③開催地役場との共催で、できるだけその地や現状にあった内容に

できること、です。

先月、三月十九日、夜七時から糖尿病教室を例年どおり、都万村保健医療福祉センターにて行いました。爽やか系山田頭士先生の「都万村における糖尿病の現状について」、当院サツパリ系塚本織恵先生(現中村診療所所長)の「糖尿病の運動療法について」の講演があり、山田先生の講演から、糖尿病を予防していくこ



爽やか系 山田医師

れたと思います。また、糖尿病の運動療法については、実際に正しい歩き方や脈の測り方等みんなやってみました。しっかりと身につきましたでしょうか。糖尿病に関する様々な展示物、掲示物とともに今回は、当院と役場の栄養士さんが検討のうえ、試食コーナーを設け、「同じ肉でも調理方法、部位をかえるだけでカロリーがこんなに変わります」をテーマに「肉の桑焼き」(鶏肉編・豚肉編)を皆で試食しました。



スタッフを含め三十六名と参加者は例年より少なかったのですが、日頃の自分の体験を話したり、笑い声の絶えないような教室でした。当院の糖尿病教室も現在はこの出張教室が主になっていきますが、病棟では教育入院も絶えずあり、初めて糖

尿病と言われ、治療を始める方、長年糖尿病と付き合っているけど最近うまくコントロールできない方、糖尿病予備軍の方、正しい知識を持つて普段の生活や療養生活に活かしていただけるよう今年も一つでも役立つ院内・院外糖尿病教室を計画していきたいと思えます。どうぞよろしくお願います。糖尿病教室があなただけの町や村で開催されるときは、是非いらしてくださいね。



さつぱり系 塚本医師



終了後全員でパチリ!

隠岐病院外来担当医一覧表

平成14年4月1日～

診療科		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	備考
内科	①診	小出 博己	笠木 重人	小出 博己	小出 博己	笠木 重人	(月・水)主に神経内科再診 (木)神経内科初診
	②診	増野 純二	石飛 亮	小山/石飛	越野 健司	石飛/小山	
	③診	小山美佐恵	越野 健司	増野 純二	増野 純二	越野 健司	
下線部医師が初診患者様の対応をいたします							
巡回診療 (午後)				越野 (大久)	小山/石飛 (加茂)		大久は毎週・加茂は隔週 ※別紙予定表参照
胃カク・胃透視 腹部超音波		越野・石飛	増野・小山	越野 石飛/小山	塚本 小山/石飛	増野 小山/石飛	腹部超音波スクリーニングは 検査技師が毎日実施
心臓超音波		石飛		検査技師 小山		越野	
大腸カメラ		都万 越野・小山	増野・越野 塚本・石飛	増野・塚本 石飛/小山	都万・増野 石飛/小山		
整形外科	外来	勝部 顕一	勝部 顕一	大饗 和憲	勝部 顕一	大饗 和憲	
	救急	大饗	大饗	勝部	大饗	勝部	救急・病棟対応
外科		筑後 一徳	三上 学	筑後 一徳	筑後 一徳	三上 学	
精神神経科		小村 文明	三原 卓巳	小村 文明	小村 文明	三原 卓巳	
耳鼻咽喉科		田中 弘之 (午後診あり)	田中 弘之	田中 弘之	田中 弘之	田中 弘之 (午後診あり)	午後診は、原則として高 校生以下の方を対象
産婦人科		上田 敏子	上田 敏子	上田 敏子	上田 敏子	上田 敏子	
小児科		葛西 武司	葛西 武司	葛西 武司	葛西 武司	葛西 武司	
泌尿器科		洲村 正裕	洲村 正裕	洲村 正裕	洲村 正裕	洲村 正裕	人工透析
歯科		松田 源	松田 源	松田 源	松田 源	松田 源	
眼科		長谷川次郎	長谷川次郎	長谷川次郎	長谷川次郎	長谷川次郎	
皮膚科			大澤 徳哉			山田 七子	鳥大病院A ⁺ 診察

外来受付時間は午前8時から11時までです。

- 全科にて再診予約制を実施しております。(午前8時より再診自動受付機が稼働します)
- 整形外科外来の救急は、救急患者様対応・病棟対応および処置外来対応を表します。
- 歯科外来については予約制となりますので、あらかじめ歯科外来までお電話ください。
- 皮膚科外来については、毎週火曜日と金曜日のパート診療です。診療時間を変更することがありますのでお問い合わせください。

隠岐広域連立立 隠岐病院 (電話 08512-2-1356)

米子より、だんだん

―作業療法士実習生の受け入れ―

本年二月、米子にある「YMCA米子医療福祉専門学校」の作業療法士科より、二人の実習生を受け入れました。当院の高梨作業療法士も臨床三年目、初めての実習生を迎え、内容の充実した実習ができたのか反省もあるようです。先日、お二人から実習時の感想が送られてきましたのでご紹介したいと思います

「隠岐病院での三週間」 作業療法士科 岩井順子

八時二五分、私たちは不安と緊張とともに少し早歩きでリハビリ室へ向かいました。そこから私たちの三週間が始まりました。その緊張もつかの間、出会った高梨先生の若さに少し戸惑い、先生から自己紹介をされ、学生の私たちの緊張感を和らげてくれるような言葉をかけてくださり、私はなんだか三週間やっつけていけそうな気がしました。病院のスタッフの皆さん方も暖かく迎えてくださり、日に日に実習を楽しめるようになっていきました。

初めての総合病院での実習は、どんな感じなのか想像がつ

かず、「どんな病院なんだろう?」「どんな患者さんと接することができたらだろうか?」というろいろ考えていました。実際、隠岐に一つの総合病院ということで様々な患者さんが来られていたり、精神科があったりとかかなり大きな病院で様々な職種の方の協力のもとで成り立っているのだと感じました。病院内や地域を含めた様々な課題に、



作業療法士のタマゴです(左:岩井・右:増田)



将来、作業療法士になるものとして考えさせられる機会を得ることもできました。今まで経験できなかったオペ見学では、患者さんを知るための重要なものだと知り、貴重な経験をさせていただきました。

お忙しい中、私たちのために、病院内の様々なスタッフの方々が時間を作って学習の場を提供してくださり、本当にありがとうございました。これからの実習、または作業療法士として臨床現場につくようになったときに隠岐病院で実習した経験を生かしていきたいと思います。



「評価実習を終えて」 作業療法士科 増田花子

□□□□□□□□□□□□□□

今回三週間、隠岐病院でお世話になり有り難うございました。二度目の身体障害分野ということもあり、半ば緊張感が途切れてしまい反省すべき点多

々あったと思います。リハスタッフの方々や他職種の方々には親切にして頂き、楽しい実習となりました。また、お忙しい中他職場やオペ現場を見学させて頂き貴重な体験が出来ました。初めての総合病院の実習だったので様々な職種の仕事を知ることができ一人の患者さんに対して多くの皆さんがアプローチしている事を実感しました。そのた



高梨作業療法士と3人で!

めにも他職種との情報交換の大切さや、怠る事で患者さんになる不利益は莫大なものになると思いました。臨床実習に行く前に基本的な事ですがとても大切な、患者さんへの接し方や他職種との連携の大切さを学ぶ事ができ良かったです。

これまで作業療法を病院関係の人が知らない事に対して疑問がありました。私自身、他の職種の仕事を理解しきれていない部分もあり、自分も知らない部分と知ってもらう事は出来ないかと反省しました。今回の実習で学んだ事や経験した事を臨床実習に生かし頑張ります。

□□□□□□□□□□□□□□

臨床経験が浅く、人を教える立場には早いと思いましたが、実習生を受け入れました。病院スタッフの力添えもあり、無事(?)終えることが出来ました。この実習が今後活躍される彼女達の一助になれば...と思います。
【作業療法士 高梨悠一】



小児科ニュース

小児科では手足口病が流行の兆しをみせています。普通は夏に流行することが多いのですが、今年は暖かいためでしょうか？原因はウイルスによって起こります。手のひら、足の裏、おしりに水泡ができ、口の中には口内炎がたくさんできます。発熱することもあります。一般的に自然に治ります。治療は対症療法で、皮膚の水泡には特に治療の必要はなく、口内炎には塗り薬を塗り、発熱があれば解熱剤を使用します。口内炎の痛みのため水分が取りにくくなるので脱水にならないよう注意が必要です。水分が取れなかったり、元気がなく、顔色が悪かったりするときは早めに受診しましょう。



異動

退職（三月まで）

*加藤 一朗（内科医長）
— 都万診療所へ

*塚本 織恵（内科医長）
— 中村診療所へ

*川上 伸兒（産婦人科部長）
— 町立広瀬病院へ

*八木 宏（泌尿器科医長）
— 松江生協病院へ

*瓦谷 久志（精神科部長）
— 県立湖陵病院へ

*笠原 恭輔（精神科医長）
— 県立湖陵病院へ

*金月 章（歯科医長）
— 大阪へ

*小泉 丸子（相談室部長）

*安食 星子（保健師）
*田崎 弘美（臨時准看護師）

皆様お疲れ様でした！



あこがき

いよいよ四月。新しい年度のスタートです！真新しい制服に身を固めたピカピカの新生一年生。その緊張した面持ちに初々しさを感ずると共に、こちらの背筋もシャキッとするような感じがしますね。わたしも気分を新たにして環境に慣れすぎず、今一度足元を見直そうと思えます。

サビサビの社会人
十八年生。

□□□□□□□□□□□□□□



皆さまからのご意見、投稿、ご意見...。なんでもお待ちしております。また当院ではホームページでも情報発信をしておりますので是非ご覧ください
西郷町城北町三五五
隠岐病院内「まめなかの」

e-mail
webmaster@oki-hospital.com
homepage-address
http://oki-hospital.com